

平成29年度第3回精華町社会教育委員会議 会議録

■日時

平成29年8月28日（月）午前10時から11時まで

■場所

精華町立図書館1階集会室

■出席委員

- ・清水 真理子 ・田中 智美 ・上村 卓三 ・高鍋 房美 ・福味 真樹紅
- ・吉川 博文 ・尾崎 麻由美 ・谷 譲二 ・山下 博史

■出席事務局職員

- ・教育委員会教育部生涯学習課長：仲村 大
- ・教育委員会教育部生涯学習課課長補佐：川畑 由香里

■傍聴者

1名

■内容

【会議】

1. 開会

2. 議事

(1) 視察研修の振り返り

視察先：南丹市まちづくりデザインセンター、京都匠塾

「南丹市まちづくりデザインセンター」は南丹市から委託を受け、ボランティアやNPO法人等の活動支援を実施する場所。その運営をNPO法人テダスが受託し実施している。

「京都匠塾」は代表の高橋氏が家具作りを通じて家具職人の育成や、モノづくりの継承のための活動を行っているNPO。子どもに対するモノづく

り塾や体験を日常的に実施している。

田中委員長

- 7月に実施した南丹市まちづくりデザインセンターでの視研修察の振り返りを行う。社会教育委員として志す一つの目標が現地で研修することができた。参加委員の感想等述べていただく。

【発言趣旨】

福味委員

- 南丹市まちづくりデザインセンターは少人数で運営をしていること、スタッフのアイデアが豊富であることに驚かされた。物や人、場所が足りなくても情熱があればできることがあると学んだ。

高鍋委員

- 何かをしようとしたときに、物や人や場所が足りないと兼ねないが、世の中には、物や人や場所がたくさんあり、眠っている。それを活かす仕組みづくりをしたら世の中活気づくと感じた。
- いいと考えることはやってみるとという言葉に勇気もらった。

上村委員

- 今回の研修は社会の目指す近未来的な内容を見ることができたと感じた。
- 様々な活動は公益性が前面に出ることが必要だが、良い活動はなかなか継続が難しい。
- 行政は今後もサービスを広げると財源が枯渇する。そういった時に公益性を目指したボランティアが必要になる。利益を上げながら実施し、利益を受益者に還元することで継続することができると学んだ。

清水委員

- 複数の町が合併した町というイメージだけであった。地域の課題を解決するための動きを取るリーダーシップがいることが大切だと感じた。
- 活動している他の人達も生き生きと活動している様子に感銘を受けた。

尾崎委員

- 高橋さんという方の考えは通常では思いつかない内容でもあるが、刺激を受けて精華町でも何かできればと思った。

谷委員

- 南丹市まちづくりデザインセンターでは様々な相談内容にオールマイティーに受け止めて答えているということに驚いた。人を引き付ける魅力のある方がリーダーであると感じた。

田中委員長

- 資金収集にすぐろくなども作成し販売しているがNPOだけでなく、事業者に通じる課題の発見と解決に有意義なものであり、活用できれば素晴らしい。
- 地域のキーマンに何が大事か問うことを考えなければならないことと、事業や起業について公共性や地域にきっかけを見つけることまた、それをするには

誰がどこで行うのかについて考える必要がある。そして協力の依頼をどこにするのかが一番大事なのではないかと感じた。行政の支援があることも大切。

吉川副委員長

- 南丹市まちづくりデザインセンターは南丹市のどの部署の管轄の仕事になるのか。また財源は。

事務局

- 市民の窓口となるような課が関係していると聞いた。南丹市においてセンターの設置要綱を整備し運営を委託して運営している。

福味委員

- 国や府などからも仕事を受けているほか、市民活動の支援のため活動をしている。活動資金は一つのところからの委託金だけで運営しているというよりは、いろいろな仕事を様々な所から受託して資金も含め集めて運営している。

吉川副委員長

- 以前生涯学習の流れが強かった時、掛川市は生涯学習が儲かるのかということで、それが儲かるかどうかを考えて取り組まなければ進まない。そしていろんな建物を建てるより、市民が健康になる体操などを広めることをした。そうすると医療費も軽減されるということで、財政的なことも考慮しながら市民をどう巻き込み、経済的にも活性化するかを考えて実施していた。そういう取り組みでは、市民がファンとなった。そういう意味では高橋氏も人づくりや人を巻き込む力が素晴らしい。

田中委員長

- 精華町の社会教育委員として何をしたらよいかを考えるきっかけとなった。本町の社会教育委員会の活動は活発ではあるが、会議開催だけでなく、その活動を何に活かしてゆくかを考えることが大切。
- 社会のニーズを的確につかみ、人材育成と人材活用を進めることまた、財源を確保しながら事業を継続することが大切。さまざまなことが凝縮された研修であった。

(2) 平成29年度近畿地区社会教育研究大会・平成29年度京都府社会教育研究大会について

【確認事項】

- 参加委員8名予定。
- マイクロバスにて送迎する。
- 参加分科会の確認。
- 運営委員高鍋委員。運営委員の仕事内容は別途冊子にて指示がある。
- 当日のスケジュール確認。
- 精華町社会教育委員活動パネル紹介。パンフレット等の配架の実施(2種類)。

(3) 第44回町民体育大会について

【確認事項】

- 参加者及び当日役割確認。

(4) その他

【説明主旨】

- やましろ未来っ子・まなび体験サポーター研修参加案内。

(5) 次回委員会偽

平成29年10月3日(火)午後2時～

4 閉会